

平成20年度花巻市教育表彰について

1 目 的

教育表彰は、本市の教育、学術、文化及び体育に関する功労並びに善行美績を顕彰し、教育の発展高揚に資することを目的とする。

2 表彰対象者

表彰は、個人又は団体にあつて、次の各号のいずれかに該当するものについて行う。

- (1) 教育、学術、文化及び体育の発展に著しく寄与したもの
- (2) その他特に表彰に値する善行又は功績あると認めたもの

3 被表彰者

- 花巻市立湯本中学校 【学校教育】
- 遠^{えん}藤^{どう}謙^{けん}吉^{きち}（74歳） 【社会教育】
- 菊^{きく}池^ち完^{かん}侍^じ（73歳） 【社会体育】
- 東和町芸術文化協会 【学術・文化】

4 表 彰 式

平成20年11月3日（月）午前11時00分から花巻温泉ホテル千秋閣にて開催する。

被表彰者には、表彰状と記念品を授与する。

平成20年度花巻市教育表彰受賞者の事績概要

【学校教育部門】

団 体 名	花巻市立湯本中学校
代 表 者	校長 太 田 達 久
生 徒 数	209名
創 立	昭和22年

《事績概要》

本校は、「生徒の持つ可能性を最大限に開発する」、「教職員が自分の能力を最大限に発揮する」を教育目標に、教師と生徒が一丸となって活力ある学校づくりに取り組んできた。

この取り組み全般が生徒の自信と意欲を高め、平成20年度岩手県中学校総合体育大会において、バスケットボール男子、剣道女子の優勝をはじめ、女子1,500メートルなどの陸上競技等において上位入賞を果たし、本市の中でも最も優秀な成績を収めた。また、平成20年度第51回全日本吹奏楽コンクール東北大会で金賞を獲得し、東日本大会へと駒を進めるなど、文武両道で多大な成果を挙げた。

また、10年以上前から学校の体験農園「美楽園」で米作りを行い、収穫した米を、毎年福祉施設「ケアハウス花巻」に提供するなど積極的に施設を訪問して入居者を励ますとともに、独居老人宅の雪かきのボランティア活動を地域の人々の協力を得ながら、積極的に奉仕活動を展開している。

こうした生徒と教職員、保護者や地域が一体となった取り組みは、優れた教育実践として高く評価され、本市の学校教育の充実に寄与した功績は極めて顕著である。

【社会教育部門】

氏 名 遠 藤 謙 吉（74歳）

住 所 花巻市松園町一丁目10番22号

主 な 経 歴	平成6年4月～平成9年3月	花巻幼稚園園長
	平成7年4月～平成14年3月	花巻市生涯学習講師
	平成9年4月～平成12年3月	花巻教育事務所生涯 学習推進員
	平成12年4月～平成14年3月	岩手県立生涯学習推 進センター電話相談 委員
	平成12年6月～現在	花巻市社会教育委員
	平成14年10月～現在	花巻市図書館運営協 議会委員
	平成18年4月～平成19年3月	花巻市市民憲章等検 討委員会委員

《事績概要》

同氏は、平成12年度から花巻市社会教育委員として、積極的に社会教育施策に関し助言し、社会教育の充実、芸術文化の振興、生涯スポーツの推進等、本市の社会教育行政の進展に多大な貢献をした。

また、永年の教職の経験をもとに花巻市生涯学習講師として、幼児教育・家庭教育を担当し、市内保育所・幼稚園・小中学校等の保護者を対象にした家庭教育講座を活動の中心として生涯学習に尽力されたほか、花巻教育事務所生涯学習推進委員、岩手県立生涯学習推進センター電話相談員、花巻市図書館運営協議会委員等の公務を務めるなど、社会教育振興に寄与した功績は誠に顕著である。

【社会体育部門】

氏 名 菊 池 完 侍（73歳）

住 所 花巻市高木第19地割74番地3

主 な 経 歴	平成4年4月～現在	花巻市弓道会会長
	平成8年4月～平成20年3月	財団法人花巻市体育協会評議員
	平成13年4月～平成19年3月	花巻市武道会会長

《事績概要》

同氏は、武道競技普及のために市営弓道場の必要性を強く感じ、昭和49年三武道（柔・剣・弓道）を取りまとめ、武道館建設準備委員会を設立し、昭和52年に落成した武徳殿の建設に大きく貢献した。

また、花巻農業高等学校、花巻南高等学校に弓道部を創設し、選手を育成するとともに、弓道の指導を通して青少年の健全育成にも貢献した。

さらに、平成4年から今日までの16年間の永きにわたり花巻市弓道会の会長を務めるとともに、平成13年から花巻市武道会の会長を6年間歴任するなど、長年にわたる武道競技、特に弓道の発展と競技力の向上のために尽力した功績は誠に顕著である。

【学術・文化部門】

団 体 名 東和町芸術文化協会
代 表 者 会 長 浅 沼 昭 一
会 員 数 48団体 750名
設 立 昭和44年

《事績概要》

当会は、昭和44年に旧東和町内の26団体により東和町文化団体連絡協議会として設立され、昭和50年には東和町芸術文化協会と改称し、芸術文化団体の連絡協調と自主的活動の拡大促進を図り、芸術文化の普及振興に寄与することを目的として今なお活発な活動を展開している。

また、発足当時から郷土芸能保存活動を積極的に展開し、郷土芸能発表会（昭和46年～）、東和町神楽大会（平成14年～）、平成元年からは、土沢まつり権現舞&鹿踊りパレード及び群舞を主催し、郷土芸能の保存に多大な貢献をしている。さらには、平成5年4月に東和町芸術文化少年団を設立し、東和町芸術文化少年団芸能発表会を立ち上げ、後継者の育成にも大きな力を注いでいる。

芸術祭は、舞台、展示部門はもとより、萬鉄五郎記念美術館の「街かど美術館」やふるさと歴史資料館の事業と連携し、町全体が身近に芸術に親しめるように事業を展開し、さらには、当会独自の芸術文化表彰を設け、会員の芸術活動の意欲向上を図るなど、本市の芸術文化の振興に寄与した功績は誠に顕著である。